

幼児教育長期派遣通信 3学期号

発行 令和3年3月25日

坂町立横浜小学校 舞 幸江（派遣園：坂みみょう保育園）

1学期号，2学期号では遊びの中で見つけた学びや，小学校につながる幼児期の学びについてお伝えしてきました。3学期号では，これまでの研修を活かして，来年度実施するために作成したスタートカリキュラム計画について，どのような観点で作成したかをお伝えします。

1 3学期の研修内容

(1) 園内研修

0歳児～5歳児の様子を観察し，5つの力を手がかりに小学校での育ちと学びへのつながりを考察
環境の構成と保育内容や保育者の意図についての考察 園内行事への参加（生活発表会）事例研修

(2) 園外研修

「乳幼児保育における5つの力の育ち」を考える研修会 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・
接続フォーラム 幼児教育長期派遣研修に係る研修会 所属校に入学してくる園児の実態把握
坂町幼保小連携協議会 長期派遣研修発表会及び推進事業報告会

2 研修を通して

スタートカリキュラム計画の作成

(1) 入学予定児童のいる園・所との連携・内容

第1回連携（10月）・・・活動の参観(全学年)

第2回連携（12月）・・・年長児参観，担任と交流

第3回連携（2月）・・・年長児参観，担任と交流

第4回連携（3月）・・・入学予定児童についての連携

① 学びを知る

入学予定児童が通っている園へ行き，子供たちが入園から今日まで，園の教育理念の下，どのような活動や体験を行い，どのように力を付けてきたのかを知ることとしました。

その時，年長児だけではなく，全学年の活動を参観し，年長児がどのような学びをしながら成長してきたかを知るようにしました。

各学年の学びを知る



年長児の学びを知る

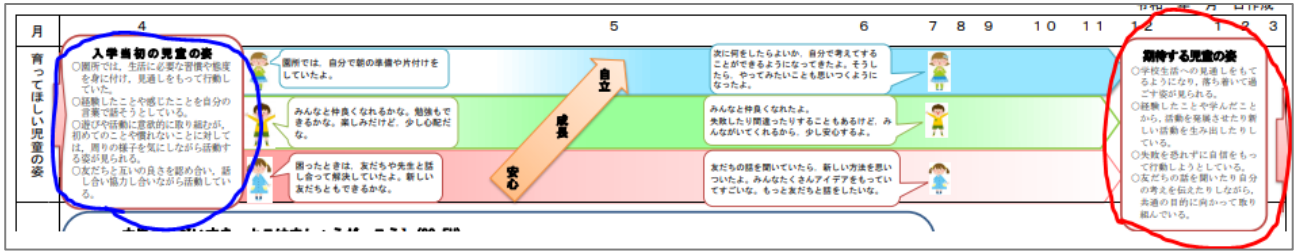


② 実態把握

2回目以降の連携では，年長児の各クラスに入り，活動を参観したり，子供たちと触れ合ったりしながら，雰囲気を感じたり学びを見取ったりしました。より深く子供たちを知るために，2クラス以上の園では，日程を分けて時間を長めに設定してもらい，一人一人の様子も分かるようにしました。

また，各期での年長児のめあて，学年，クラスでの取組やどのような力を付けてきているか，もう少し付けたい力は何か等について，年長児担任に話を聞いたり，子供たち，先生たちの思いや願い等も教えていただいたりしました。

(2) 育てほしい児童の姿について



入学当初の児童の姿作成

1 学校教育目標から

所属校では、①自分の考えをもつ②関わり合いを通して伝え合う③進んで活動に取り組むこれら3点を育みたい力とし、学校教育目標が設定されています。そこで、これら3点を柱に考えることとしました。

2 連携時の情報を活かす

園との連携で得た情報を基に、子供たちに育まれている力や今後さらに伸ばしていきたい力などをまとめていきました。

3 入学当初の姿を設定する

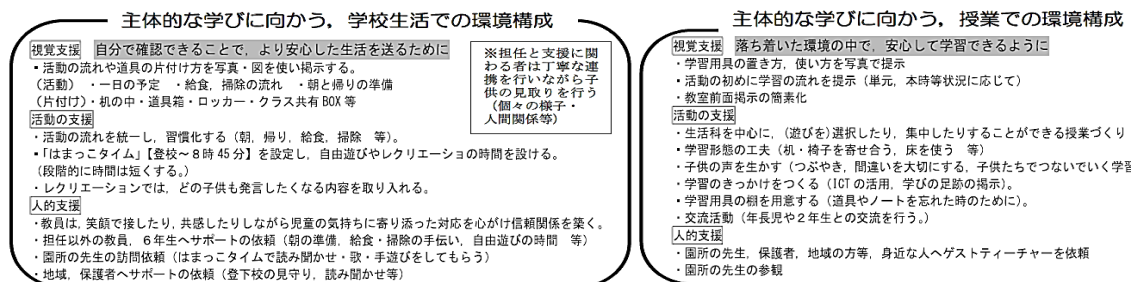
所属校で育みたい力と、園との連携から得た子供たちに育まれている力や活動の様子を結び付け、入学当初の姿を設定しました。その際、できていることばかりではなく、課題と捉えていることも取り上げ、幼児期からさらに成長できることを期待し設定しました。

期待する児童の姿の作成

入学当初の姿と照らし合わせながら、最初の姿から、育みたい力によってどのような姿になっているかをイメージして作成しました。

「学習活動」や「環境構成」を設定するときに、期待する児童の姿がイメージできていると、より明確な活動や工夫を考えることができます。

(3) 環境構成作成の考え方



園・所での工夫

園・所では、まだ字が読めない子供でも迷わず行動できるように、活動の流れや片付けの仕方等を、図や写真で示していたり、子供が遊びを選択できる環境が整えられていたりします。これらの工夫を取り入れました。

安心・成長・自立できるために

安心から始まる学校生活⇒できることが少しずつ増えていく⇒次年度へ向かって、自ら考え、進んでできる、そのために大切なことは何で、必要なことは何かを、年度当初の姿、学期末、学年末の姿等を想像しながら計画をしました。また、視覚支援・活動の支援・人的支援の3つの視点に分け、支援を明確に表すことにしました。

3 まとめ

研修が始まった当初の私は、幼児期の学びを知っているつもりでした。しかし、実際に保育の現場に入り、子供たちと過ごす時、子供の遊ぶ姿から何を見取ればよいのか全く分からず、知っていたつもりだったのだと痛感しました。日々の研修から、幼児教育を少しずつ理解し、遊びに学びがあることや、それは保育者のたくさんの手立てにより支えられていることにも気付きました。それらに、気付き、理解できるようになったことで、4月のスタートに何が必要か、幼児期と児童期の育ちや学びを意識して考えることができるようになってきました。

来年度は、研修での学びを生かし、所属校の子供たちにあったスタートカリキュラムを実践しながら、今後の改善につなげていきたいと考えています。

〈乳幼児教育支援センターより〉

小学校教育では、幼児期に育まれた資質・能力をつないでいきます。そのためには、幼児期の学びを知って、目指す子供の姿を共有していくことが大切です。その基盤として、子供たちが主体的に自己を発揮するための「安心」できる環境をつくっていきましょう。